

各 位

会社名 石油資源開発株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岡田 秀一  
問合せ責任者 広報 IR 部長 中本 亮一  
電話番号 03-6268-7110

## 秋田・福米沢油田タイトオイル（シェールオイル）実証試験の終了について

石油資源開発株式会社（以下、当社）は、福米沢油田（秋田県男鹿市、申川油田群の1つ）において、平成26（2014）年4月から実施してきた、女川層タイトオイル（シェールオイル）の開発に係る多段フラクチャリング実証試験（以下、本実証試験）を終了することとなりましたので、お知らせします。

本実証試験は、少量の原油ならびに天然ガスを生産している福米沢油田北部に分布する女川タイトオイル層において、生産量増大を目指し平成 26（2014）年 4 月から取り組んでいたものです。

水平井（福米沢 SK-26DH 号井）の掘削とフラクチャリング作業を経て、平成 27（2015）年 2 月に産出試験を実施しました。しかしながら、その時点では継続的な自噴による原油の産出を確認できなかったため、原因の推定や改善案の検討のために本実証試験を継続してきました。その後、人工採取法を用いた産出試験などにより自噴の継続が確認されたことから、平成 28（2016）年 12 月より、日量 10 キロリットルの原油ならびに日量 2,000 立方メートルの天然ガスの継続的な試験生産に入りました。

現在も自噴採取による生産を継続していること、また、環境モニタリングの結果、フラクチャリング作業による周辺地域への影響がなかったことを確認したため、本実証試験の目的を達したという判断にいたしました。

なお、今回の実証試験に用いた福米沢 SK-26DH 号井は、今後も原油ならびに天然ガスの生産を継続する予定です。また、本実証試験で得られたデータは、周辺地域におけるタイトオイル開発の可能性を継続して追求するための知見として活用していきます。

以 上

### <参考>

- ・本実証試験に係る過去の当社報道資料
  - 「秋田・女川層タイトオイルに係る取り組みについて」（平成 26（2014）年 4 月 7 日公表）
  - 「秋田・福米沢油田タイトオイル（シェールオイル）実証試験に伴う掘削作業等の結果およびフラクチャリング作業計画等の公表について」（平成 26（2014）年 9 月 30 日公表）
- ・本実証試験に係る環境モニタリング関連資料 ※当社 Web サイト「ニュース」掲載
  - 「秋田・福米沢油田タイトオイル（シェールオイル）実証試験に係る「福米沢環境対策検討会」報告書の公表について」（平成 26（2014）年 3 月 20 日掲載）
  - 「秋田・福米沢油田タイトオイル（シェールオイル）実証試験に伴う環境モニタリング結果報告書の公表について（お知らせ）」（平成 29（2017）年 2 月 21 日掲載）

【別紙】福米沢油田位置図

【別紙】 福米沢油田位置図

